

## 関連イベント

### パリ祭@ハルカス

7月14日はフランス共和国の成立を祝う祭日「パリ祭」。美術館前ロビーでのコンサートやオシャレなマルシェなど、楽しいイベントを7月13日(土)、14日(日)、15日(月・祝)に開催します。

※詳細は決定次第、当館HPにてお知らせします。

### 山田五郎アートトーク

幅広い分野でご活躍の山田五郎さんをお迎えし、ギュスターヴ・モローの作品の魅力を、独自の切り口でご紹介いただきます。



7月26日(金) 18:00～19:00

[講師] 山田五郎 氏(評論家)

[会場] あべのハルカス25階 会議室  
(17階からエレベーターにお乗りください)

[定員] 270名(先着)

※聴講は無料ですが、本展観覧券(半券可)が必要となります。当日17:30から、あべのハルカス25階にて受付。

### ハルカス大学連携講座

#### 「ギュスターヴ・モローのサロメ」

19世紀フランス象徴主義絵画をご専門とされる喜多崎親教授に、本展出品作《出現》をはじめとするモローのサロメ像についてお話しいただきます。



9月1日(日) 14:00～15:30

[講師] 喜多崎 親 氏(成城大学教授)

[会場] あべのハルカス23階 セミナールーム  
(17階からエレベーターにお乗りください)

[定員] 80名(事前申込制、先着順)

※聴講は無料ですが、本展観覧券(半券可)が必要となります。お申し込みは、ハルカス大学webサイト(<http://harudai.jp/>)、お電話(06-6622-4815)、もしくはハルカス大学受付(あべのハルカス23階キャンパスフロア)にて承ります。定員になり次第締め切ります。

### ギャラリー・ツアー

7月31日(水)、8月21日(水)、9月11日(水)

各日18:30～(約30分)

[講師] 当館学芸員

[会場] 展示室

※聴講は無料ですが、本展観覧券が必要となります。

## 音声ガイド

ナレーション 石坂浩二さん

ご自身もモロー絵画のファンでいらっしゃるという石坂さんに、展覧会をナビゲートしていただきます。

貸出価格:600円(税込)

解説時間:約30分



## 夢みるシャンパーニュナイト

学芸員によるみどころ紹介の後、貸し切りで展覧会を鑑賞。幻想性豊かなモロー絵画の余韻に浸りながら、ロビーにて優雅で繊細なシャンパーニュ COLLET(コレ)の試飲をお楽しみいただける、特別な夜です。

[協力]株式会社 Traders Market、アンスティチュ・フランセ関西

7月27日(土)、8月24日(土)

各日18:00～20:00 各日17:50に受付を開始します。

[会場] あべのハルカス美術館前ロビー  
および展示室

[定員] 各回100名

[参加料] 3,000円(税込)

チケットは4月27日(土)よりイープラスにて限定販売。

定員に達し次第終了。

※未成年者のご参加はお断りさせていただきます。ご了承ください。  
飲酒運転は法律で固く禁じられております。  
ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。



(イメージ)

数量  
限定

### オリジナルランチトート付き前売券

一般のみ **2,000円(税込)** ※4月27日(土)より販売。予定数に達し次第終了。

モローとその恋人、アレクサンドリスをモチーフとした本展オリジナルランチトートバッグ(非売品)と前売券のお得なセットです。

ローンチケット(Lコード:57700)にて限定販売。

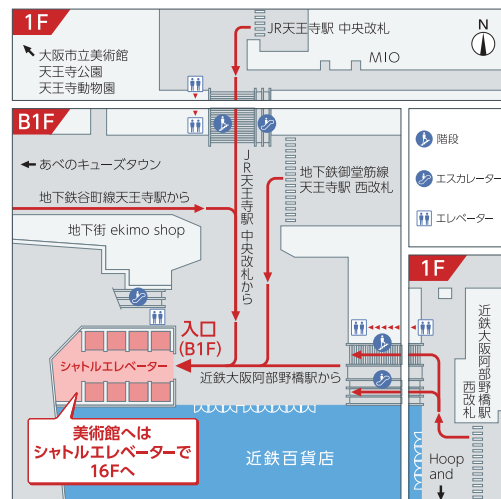
[サイズ] 縦30cm×横20cm×幅10cm  
※グッズは会期中、あべのハルカス美術館ミュージアムショップにて引き換え



観覧料(税込)	当日	前売・団体
一般	1,500円	1,300円
大高生	1,100円	900円
中小生	500円	300円

※前売券は4月27日(土)～7月12日(金)まで販売。※団体は15名様以上。※障がい者手帳をお持ちの方は、美術館チケットカウンターでご購入されたご本人と付き添いの方1名まで当日料金の半額。※本展観覧券(半券可)の提示で、特別展「メアリー・エインズワース浮世絵コレクション」初期浮世絵から北斎・広重まで [2019年8月10日(土)～9月29日(日)、大阪市立美術館]の当日券を100円引きでご購入いただけます。(1枚につきお一人様1回限り有効、ほかの割引券と併用不可)

【チケット販売所】あべのハルカス美術館ミュージアムショップ(美術館開館日のみ)、あべのハルカス美術館ホームページ(オンラインチケット)、近鉄駅営業所、セブンチケット(セブンコード:074-964)、チケットぴあ(Pコード:769-684)、ローンチケット(Lコード:57700)、イープラス、ファミリーマート、CNプレイガイド、楽天チケット、近畿日本ツーリストグループの店舗(一部店舗を除く)など



◎交通のご案内

近鉄「大阪阿部野橋駅」JR「地下鉄」天王寺駅「阪堺上町線」天王寺駅前下車すぐ。  
※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。  
あべのハルカス美術館へはシャトルエレベーター  
【乗り口:地下1階または2階をご利用ください。】

# Gustave Moreau Salomé and the femme fatale

愛して、夢みる

見えならぬものこそ、美しい

# ギュスターヴ・モロー展

サロメと宿命の女たち

2019  
7/13(土) - 9/23(祝)

【開館時間】火～金/10:00～20:00、月土日祝/10:00～18:00 ※入館は閉館30分前まで

【休館日】7月22日、29日、8月5日の各月曜日

【主催】あべのハルカス美術館、読売テレビ、読売新聞社

【後援】在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本 [協賛]大和ハウス工業、光村印刷

【特別協力】ギュスターヴ・モロー美術館 [企画協力]NHKプロモーション [協力]日本航空

あべのハルカス美術館  
ABENO HARUKAS ART MUSEUM

〒545-6016 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43  
あべのハルカス16階  
【お問い合わせ】06-4399-9050



あべのハルカス美術館  
ABENO HARUKAS ART MUSEUM



「ファム・ファタル」—— 男性を誘惑し、破滅に導く美しき宿命の女。19世紀末のパリで、そのシンボルというにふさわしい作品が生まれました。それは、ギュスターヴ・モロー(1826～1898)の《出現》にほかなりません。ユダヤの王女サロメと、洗礼者聖ヨハネの首の幻影が対峙する、豪奢で神秘的なイメージは、かつて誰も描きえなかったものでした。象徴主義の巨匠として知られるモローは、写実主義が主流であったこの時代に、人間の内面をみつめ、目に見えない世界を描き出そうとしました。そのテーマは神話や聖書を中心としていますが、単なる歴史画に終わらず、自らの解釈や想像力を存分に生かし、現代にも通じる普遍的で深遠な絵画世界をつくりあげています。

この展覧会では、サロメをはじめとして、モローが描き出したさまざまな女性像を通して、彼にとっての「ファム・ファタル」とは何であったのかを探ります。また、謎めいた画家とされるモローが、実生活で愛した母や恋人の存在にも焦点をあて、その素顔の一端も紹介します。パリのギュスターヴ・モロー美術館が所蔵する油彩、水彩、素描など約100点の作品を通して、モロー芸術の魅力にふれるとともに、それを生み出した画家の内面にも、心を寄せていただければ幸いです。



《24歳の自画像》1850年  
Photo©RMN-Grand Palais / René-Gabriel Ojéda / distributed by AMF



《アレクサンドリーヌ・デュルー》1865-79年頃  
結婚はせずとも、モローは彼女を30年近くの間、愛し続けた。  
Photo©RMN-Grand Palais / image RMN-GP / distributed by AMF

モローが  
愛した  
女たち



《雲の上を歩く翼のあるアレクサンドリーヌ・デュルーとギュスターヴ・モロー》  
自身と恋人の姿をユーモラスに描写。画家の意外な一面がのぞく。  
Photo©RMN-Grand Palais / René-Gabriel Ojéda / distributed by AMF



《出現》1876年頃  
サロメが踊りの褒美に求めたものは、洗礼者聖ヨハネの首だった— 世紀末のファム・ファタル像を決定づけた、モローの傑作。  
Photo©RMN-Grand Palais / René-Gabriel Ojéda / distributed by AMF

究極の  
ファム・ファタル  
「サロメ」



《サロメ》  
数多くの素描を残したモロー。流麗な線の美しさに目が奪われる。  
Photo©RMN-Grand Palais / Tony Querec / distributed by AMF

# Gustave Moreau Salomé and the femme fatale

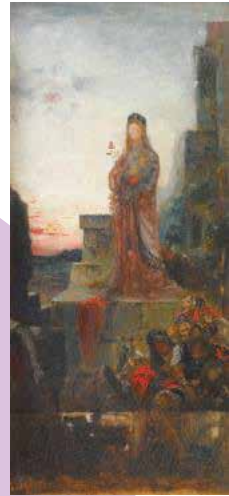
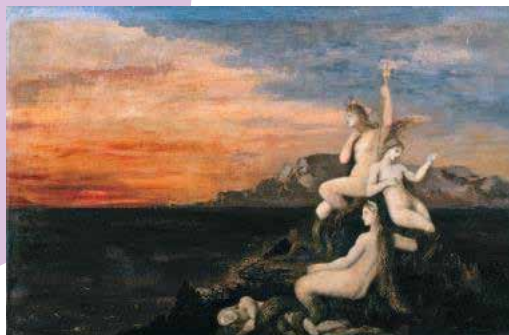
何よりもまず 愛し、  
少し夢みなければなりません—

《エウロペへの誘拐》1868年  
牛に姿を変え、恋した娘を連れ去るゼウス。神と人間、男と女のドラマ。  
Photo©RMN-Grand Palais / René-Gabriel Ojéda / distributed by AMF



運命を翻弄し、  
運命に翻弄されて

《セイレーン》  
Photo©RMN-Grand Palais / Philipp Bernard / distributed by AMF



《トロイアの城壁に立つヘレネ》  
傾国の美女といえはヘレネ。その美は多くの犠牲をもたらした。  
Photo©RMN-Grand Palais / René-Gabriel Ojéda / distributed by AMF

《ヘラクレスとオンファレ》1856-57年  
豪傑ヘラクレスをも支配した女性の力が示される。  
Photo©RMN-Grand Palais / Christian Jean / distributed by AMF



高貴なる  
誘惑

《一角獣》1885年頃  
処女にのみ従順となるという一角獣。宝石のような色彩が画面を彩る。  
Photo©RMN-Grand Palais / René-Gabriel Ojéda / distributed by AMF

